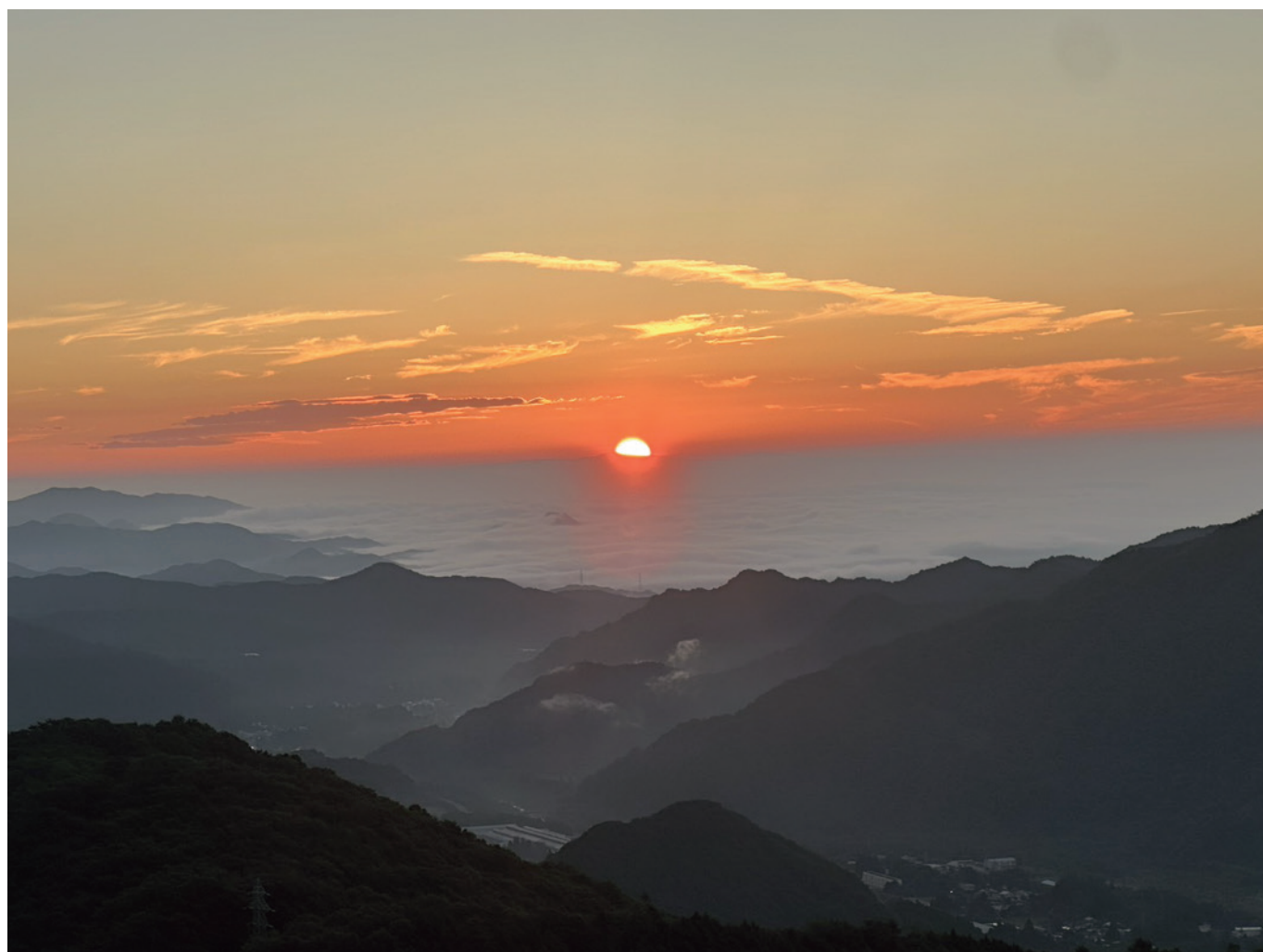




市議会から こんにちは

NO. **81**

令和8年
1月25日 発行
(12月定例会)



一日の始まり

(HIROSHIさんの作品)

登山に向かう車中、山の稜線の向こうから静かに昇る朝日が、雲海に包まれた山々をやさしく染め上げていました。

刻一刻と移ろう空の色、澄みきった冷たい朝の空気が、そして静寂に包まれた山の気配に、思わず車を止め、心を打たれてシャッターを切りました。

新しい一日の始まりと自然の偉大さを深く感じさせてくれる、忘れられない日の出でした。

おもな内容

12月定例会で審議した議案と結果	2
議員別賛否一覧	3
一般質問	4
付託委員会審査報告	6
委員会活動報告	8
議員定数等検討調査特別委員会	10
議会報告会(中学生対象)	11
議会のおもな動き・編集後記	12

令和7年12月定例会で審議した議案と結果

令和7年12月定例会を11月27日から12月17日まで、21日間の会期で開催しました。審議した案件は、報告1件、執行部提出議案27件、調査報告1件、議員議案1件でした。

なお、一般質問は12月11日、12日の2日間にわたり、10名の議員が24項目について行いました。

[illegible]

第119号案	令和7年度（2025年度）日光市一般会計補正予算（第4号）について	原案可決
議員議案第2号	日光市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
調査報告	議員定数等検討調査特別委員会調査報告	報告
第118号案	令和7年度（2025年度）日光市下水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決
第117号案	令和7年度（2025年度）日光市水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決
第116号案	令和7年度（2025年度）日光市温泉事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
第115号案	令和7年度（2025年度）日光市一般会計補正予算（第3号）について	原案可決
第114号案	市道路線の認定について 〔日向台団地3号線、日向台団地4号線〕	原案可決
第113号案	市道路線の認定について 〔今市右高橋向8号線〕	原案可決
第112号案	財産の取得について 〔消防団小型動力ポンプ積載車整備事業〕	原案可決
第111号案	日光市中心市街地集客拠点施設の指定管理者の指定について	原案可決
第110号案	日光市平家の里の指定管理者の指定について	原案可決
第109号案	日光市上栗山オートキャンプ場の指定管理者の指定について	原案可決
第108号案	日光市土呂部キャンプ場の指定管理者の指定について	原案可決
第107号案	日光市霧降高原キスゲ平園地の指定管理者の指定について	原案可決
第106号案	日光市日光福祉保健センターの指定管理者の指定について	原案可決
第105号案	日光市湯西川水の郷の指定管理者の指定期間の変更に ついて	原案可決

次回(令和8年2月)日光市議会 定例会会期日程予定

【会期 2月12日(木)～3月24日(火) 41日間】

月/日	曜日	会期日程	備 考
1/29	木		陳情受付締切(17時)
2/12	木	本 会 議	開会・施政方針・上程
2/24	火	本 会 議	代表質問・付託
2/26	木	付託委員会	議案等審査
3/2	月	付託委員会	議案等審査
3/3	火	付託委員会	議案等審査
3/4	水	本 会 議	一般質問
3/6	金	本 会 議	一般質問
3/9	月	本 会 議	一般質問予備日
3/10	火	本会議/予算審査特別委員会	採決/令和8年度予算案審査
3/12	木	予算審査特別委員会	令和8年度予算案審査
3/13	金	予算審査特別委員会	令和8年度予算案審査
3/16	月	予算審査特別委員会	令和8年度予算案審査
3/24	火	予算審査特別委員会/本会議	令和8年度予算案審査/採決・閉会

※ この予定は変更となる場合がありますので、議会傍聴等は改めて議会事務局にお問い合わせ願います。
問合せ先 0288-21-5140 (議会事務局直通)

令和7年12月定例会の議員別賛否一覧

○…賛成 ●…反対 ー…欠席等
(賛否等が分かれたもののみ掲載)

事件	議案 第115号	議員議案 第2号
	令和7年度(2025年度)日光市一般会計補正予算(第3号)について	日光市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について
採決結果	可決	可決
可：否	19：1	19：1
川 村 寿 利	ー	ー
田 村 耕 作	○	○
福 田 悦 子	●	●
齊 藤 正 三	○	○
山 越 享太郎	○	○
筒 井 巖	○	○
村 上 正 明	○	○
高 見 尚 希	○	○
荒 川 礼 子	○	○
斎 藤 久 幸	○	○
和 田 公 伸	○	○
川 島 憲 朗	○	○
斎 藤 伸 幸	○	○
青 田 兆 史	○	○
山 越 梯 一	○	○
生 井 一 郎	○	○
齋 藤 文 明	議長のため採決には加わらない	
亀 井 崇 幸	○	○
嶋 田 正 法	○	○
大 島 浩	○	○
斎 藤 宏 明	○	○
三 好 國 章	○	○

本会議YouTube配信!

本会議の生中継、録画中継を
YouTube配信しています。

定例会の開催は、
2月、6月、9月、12月です。

ぜひご視聴ください!

▲youtube.com/@3-hl4pv



【日光市議会公式YouTubeチャンネル】

一般質問



生井 一郎 議員
(光和)

動画視聴 ▶



- 質問事項
- ① ガソリン暫定税率廃止と市の対応について
 - ② 教育行政全般について
 - ③ 市制施行20周年記念事業について
 - ④ 国道文挾バイパス建設について

ここがポイント



日光市全域の市民が、行ってみたい。そして市外の人々も訪れてみたい、そのような「日光市が誇れる一大イベント」があればと、以前から思っていました。かつて10万人の来場があった、日光そばまつりを市制20周年記念事業として再現を提案。そして今後も実現に向け、奮闘。

一般質問とは、市政全般にわたり、事務の執行状況や方針等について議員が市執行部に質問するもので、定例会ごとに行われます。

12月定例会は、12月11日、12日の2日間にわたり10名の議員が24項目の質問を行いました。

なお、日光市議会は、広報紙を含めた情報発信のデジタル化を進めていることから、紙面では、質問事項と質問の「ここがポイント」を掲載しています。質問の詳細は録画中継をご覧ください。



〇〇〇〇 議員



議員顔写真下の2次元コードを、スマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、その議員の一般質問がご覧になります。

また、一般質問は会議録でも読むことができます。会議録は、市役所、行政センター、図書館などにあります。

日光市議会 中継

検索



高見 尚希 議員
(市民フォーラム志向)

動画視聴 ▶



- 質問事項
- ① こどもの居場所づくり推進事業について
 - ② 学校給食費(保護者負担)について



ここがポイント



①では、国の強力な支援期間が令和8年までとなっていることから、こどもの居場所づくり事業の推進のために、しっかりと活用するように主張しました。
②では、物価高の影響額を確認し、令和8年度からの無償化と試算について保護者への情報公開と説明を強化すべきであると主張しました。



嶋田 正法 議員
(公明党)

動画視聴 ▶



- 質問事項
- ① 体育館の暑さ対策について
 - ② 学習用タブレットの健全な利用環境の確立について
 - ③ 地域防犯力向上に向けた取組について

ここがポイント



市民の皆様からご要望の多い「体育館へのエアコン設置」について、早期実現につながる提案型の質問を行いました。今後も市民の皆様の安全と健康を守る観点から、実効性ある施策の提案に努めてまいります。



山越 享太郎 議員
(光和)

動画視聴 ▶



- 質問事項
- ① 文化・芸術について
 - ② こどもの居場所・遊び場について



ここがポイント



今回は、多くの子育て世帯から要望のあった、室内の遊び場について質問をしました。市は、整備するの誘致するのか明確なことは言えないが、前向きに検討することでした。今後も若い世代の声を届けていきます。

ここがポイント

「お悔やみコーナー」の設置を5年前の一般質問で提案。ようやく4月から設置されること。また、当市の介護を支えている外国人介護労働者についても質問。50人近い方々が施設で働いていることも明らかに。介護人材不足は大きな社会問題。今後も外国人労働者の抱える問題は重視すべき。



福田 悦子 議員
(日本共産党)



動画視聴▶

- 質問事項
- ①お悔やみコーナーの設置について
 - ②外国人介護労働者の実態と課題について
 - ③夜間中学について



ここがポイント

今回の質問は、姉妹都市・友好都市等のあり方を交流や親睦を図るだけでなく、産業振興や企業誘致と関連付けることで、日光市の経済的發展に寄与できるような事業を進めていくための質問でした。



田村 耕作 議員
(光和)



動画視聴▶

- 質問事項
- ①姉妹都市・友好都市等のあり方について



ここがポイント

令和6年9月に続いて農業関係の質問をしました。コメの高値が社会問題となり、今も米価の高止まりが続いています。日光産もち米の契約栽培が軌道に乗り、生産者が安心して栽培に取り組める体制が構築されることを期待しての質問です。



斎藤 伸幸 議員
(光和)



動画視聴▶

- 質問事項
- ①日光市の農業について
 - ②空き家対策について



ここがポイント

○小中学校いじめ・不登校問題：いじめの早期発見・早期対応・アフターケアに至るまで切れ目のない支援を願う!! 答：令和6年度いじめ認知件数、小学校233件、中学校139件。各学校では「いじめ防止対策委員会」が構成されていて定期的な調査を実施、人権教育・研修など教職員全員で未然防止を図っている。



齊藤 正三 議員
(市民フォーラム志向)



動画視聴▶

- 質問事項
- ①小中学校いじめ・不登校問題について
 - ②企業誘致について



ここがポイント

新中央公民館移転と野生獣害対策について質問いたしました。シカ、イノシシは、猟友会や各地区会のご協力のもと年間4,000頭捕獲されております。処理方法について大変苦労されていると聞いており、減容化施設が必要と考えますが返答は!



村上 正明 議員
(市民フォーラム志向)



動画視聴▶

- 質問事項
- ①新・中央公民館について
 - ②野生獣害対策への支援について



ここがポイント

今回の一般質問は、「藤原地区の買物支援」、「各種選挙における投票率向上の取組」、「熊出没対策」の3点を行いました。特に、「熊出没対策」については、市民の安全のためにも、早期の「緊急銃猟マニュアル」の策定をお願いします。



斎藤 久幸 議員
(グループ響)



動画視聴▶

- 質問事項
- ①藤原地区以北の買物支援について
 - ②各種選挙における投票率向上の取組について
 - ③熊出没対策について



付託委員会の審査報告

令和7年12月定例会では、各常任委員会において、執行部から提出された議案26件の審査を行いました。その中から主な内容、質疑、答弁をお知らせします。

◆総務常任委員会

議案第98号「日光市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について」…（林野火災注意報の創設）

- 問** 林野火災注意報は、どのような気象条件や指標に基づいて発令されるのか。また、注意報発令時には、市民に対して、火の使用制限の努力義務が課せられるが、努力義務であるため、その実効性について伺う。
- 答** 林野火災注意報は、気象状況が山林・原野等における火災の発生を助長するおそれが高いと認められる場合に発令するもので、その判断にあたっては、湿度、降水量、風速といった要素を総合的に勘案することとしている。また、火の使用制限の努力義務の実効性については市民・業者等の自主的な防火意識の向上を重視するものであり、罰則により一律に行為を規制するよりも、状況に応じた自発的な火気管理の徹底が、実効性の高い予防策と判断した。



◆民生教育常任委員会

議案第93号「日光市学校給食センター及び日光市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例の制定について」…（足尾学校給食センターの廃止）

- 問** 給食の保温の問題について、また、通行止めなど緊急事態における対応について伺う。
- 答** 給食の提供について、配送や保温の技術・設備等は十分できており、ほかの地域と変わらず温かい状態で提供することが可能である。また、道路事情など緊急事態により給食が停止する場合には、配備している防災食での対応や、ほかの地域と同様に、場合によっては保護者の方々への協力を求める可能性もある。



◆観光産業常任委員会

議案第96号「日光市休養施設条例等の一部を改正する条例の制定について」…（温泉入浴施設使用料の改正）

- 問** 温泉入浴施設使用料の値上げにより市民以外の利用者の足が遠のくことが懸念されるが、施設の充実度等による個別の料金設定ではなく、統一料金としている理由を伺う。
- 答** 日光市では現在、かじか荘を除く施設が統一料金で行っており、今回も同様に統一料金としたところである。また、温泉入浴施設全体で指定管理料が1億円ほど一般会計の負担となっており、個別の施設ごとに料金設定をする場合、赤字幅が大きい施設ほど値上げが必要となり、さらに利用者の足が遠のいてしまう可能性があることから、収益が見込める施設の利益でそのほかの赤字が大きい施設の分を補うため、統一料金での改正としている。



予算審査特別委員会

一般会計補正予算(第3号)

予算審査特別委員会において、令和7年度(2025年度)日光市一般会計補正予算(第3号)について審議し、原案どおり可決しました。

概要

歳入歳出予算の総額それぞれ1億9,500万円を追加し、予算総額を480億3,800万円とするもの。
＜主な事業＞

○障がい福祉サービス費給付費(1億6,217万8千円)

障がい福祉サービス利用増加に伴い給付費を増額する。

○森林環境保全整備事業費(900万円)

林道平ヶ崎線琴平架道橋の改修工事において、国庫補助採択の見込みとなったことから、設計業務委託費を計上する。

○財政調整基金積立金ほか17基金(991万5千円)

預金利率の増に伴い積立金を増額する。

主な質疑と答弁

【障がい福祉サービス費給付費】

問 増額補正の理由を伺う。

答 障がい福祉サービスの利用増加によるものだが、特に増加しているものは、放課後等デイサービス及び共同生活援助(グループホーム)である。

問 利用増加の要因を伺う。

答 放課後等デイサービスについては、事業者が市内に数多くある状況に加え、発達障がいについての理解が深まり、早期療育の有効性が広く周知されてきたこと、共同生活援助については、在宅生活が困難になった方の利用が増加したものと捉えている。



一般会計補正予算(第4号)

予算審査特別委員会において、令和7年度(2025年度)日光市一般会計補正予算(第4号)について審議し、原案どおり可決しました。

概要

歳入歳出予算の総額それぞれ1億7,500万円を追加し、予算総額を482億1,300万円とするもの。

○物価高対応子育て応援手当支給事業(1億7,500万円)

物価高の影響を受けている子育て世帯を支援するため、「物価高対応子育て応援手当」の支給に要する事業費を計上する。

主な質疑と答弁

問 支給の時期を伺う。

答 2月下旬以降、順次支給していく。



* 委員会活動報告 *

総務常任委員会

総務常任委員会は、7月9日から11日にかけて実施した行政視察の結果を踏まえて、企画総務部長、総務課長、防災対策係長の出席の下、視察報告を行い、視察内容と当市の現状を照らし合わせ、課題や対策などについて意見交換を行いました。

当市において地区防災計画の策定が進んでいないことから、策定に向けての仕組みづくりや、市による伴走支援等を考えていきたいとの意見や、防災訓練の重要性や受援体制の強化、情報伝達手段の多重化等、当市においても検討していかなくてはならないとの意見をいただきました。また、自主防災組織における防災指導員の配置や、マイ・タイムラインの普及・推進について、とても参考になる取組であったとの意見や、被災地での各種マニュアルの活用において、実効性が低かったとの課題が浮き彫りになったことを受け、当市においては、見直し等も含めたマニュアルの整備に臨みたいとの言葉もありました。

防災・減災対策は、市の備えだけでは不十分であるため、市民一人一人の備えと地域での備えの「自助、共助、公助」全ての備えをしておくことが重要です。今後、市の課題に対する2年間の調査報告を取りまとめ、市の施策に反映できるよう提言していきます。

(川島憲朗副委員長)



稲荷町自治会の合同防災訓練での
仮設トイレ組立の様子



執行部との意見交換の様子

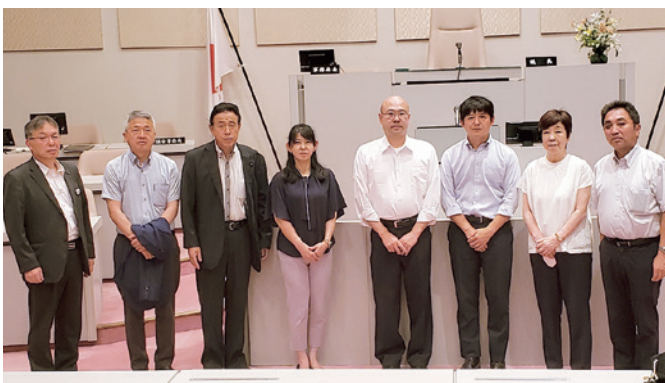
民生教育常任委員会

他の常任委員会同様、民生教育常任委員会においても、年度内に行う報告に向けて2年間かけて進めてきた所管事務調査事項の調査・研究が大詰めを迎えています。今回はこの2年間で視察を行った他市の事例の一部をご紹介します。

神奈川県大和市では高齢者が元気で自立した生活ができるよう住民主体による支援や介護予防普及啓発事業を行っています。その一環として、健康の維持増進を目的に115か所の公園に34基種の健康遊具を設置することに加え、その使用方法や設置場所を掲載したマップを配布して周知にも努めています。また、健康普及員、介護予防サポーター、地域包括支援センターと連携した健康遊具体験会の開催などにより地域住民の自主的な介護予防活動の推進を図ったり、転倒防止や筋力維持向上につながる「健康体操」なども取り入れたりしています。

この大和市だけでなく視察を実施した他市の事例を参考にしながら今後の日光市の施策に反映できるように取り組んでいきます。

(斎藤宏明委員)



大和市での視察の様子



執行部との意見交換の様子

観光産業常任委員会

当委員会は、7月に行いました群馬県前橋市、福井県福井市、石川県金沢市での行政視察の報告書をまとめ、10月28日に執行部と意見交換を行いました。

執行部からの意見として、前橋市「前橋アーバンデザイン策定とその後の民間主体のまちづくりについて」の報告では、「今後進める中心市街地でのまちづくりは大きな転換点を迎えるため、今回の現地視察や報告を参考にしながら、官民連携によるまちづくりに取り組んでいきたい。」、福井市「まちづくりについて」の報告では、「市民が先生となり取り組んでいるふくまち大学では1,000人も生徒が生まれ、人材育成の充実や、いろいろな場所での展開が図られている。当市では、ニコニコ本陣を起点に展開するような形がとられるのであれば、中心市街地の拠点施設としての役割を果たせるのではないか。」、金沢市「まちづくり事業について」の報告では、「アートベンチには滞留者への観光情報の提供などの仕掛けがされており、ベンチ一つで様々な使い方や効果があった。当市でもまちのコンセプトを表現したものであれば市民も来訪者も気分よく利用ができ、まちの人たちと考えることで面白いアイデアが出てくるのではないか。」など、活発な意見交換をすることができました。

(青田兆史委員長)



執行部との意見交換の様子



前橋市での視察の様子

令和7年行政視察受入状況について

日光市議会では、全国の議会の皆様からの行政視察受入を行っています。

令和7年は12議会が視察にお越しくださり、そのうち6議会が日光市議会の取組を視察されました。

〈日光市議会の取組を視察された議会〉

月	議会名	視察内容
1月	栃木県下野市議会	・議会広報について
8月	愛知県豊橋市議会	・議会改革の取組について ・議会情報の発信について
10月	愛知県愛西市議会	・議会だよりの編集について ・議会だよりのレイアウトについて
	栃木県那須町議会	・議会広報紙の編集について
	千葉県栄町議会	・本会議のインターネット中継及び観光戦略について
11月	宮城県大崎市議会	・議会広報紙について ・議会公式SNSを活用した広報について



視察の様子【下野市議会】



視察の様子【大崎市議会】

議員定数等検討調査特別委員会

次回改選時(令和8年4月)から **議員定数を24人から22人へ** **議員報酬は現状維持**

日光市議会では、令和8年4月に議員の選挙を控えていることなどから、令和7年6月に「議員定数等協議会」を、同年9月に「議員定数等検討調査特別委員会」を設置し、議員定数と議員報酬の見直しを進めてきました。

特別委員会の検討調査は、将来において市議会議員を目指す人たちのためにも、令和7年12月までに結論を出すことを目途に進めてきました。

検討調査にあたっては、市民の皆さんのご意見を聴くためのアンケートや意見交換会、専門家による講演会などを行いました。

アンケートでは、「議員定数は減らすべき」、「議員報酬は現状維持」という意見が多い結果でした。

意見交換会は、自治会連合会のご協力を得て実施しました。参加いただいた自治会長からは、議員の仕事に一定の理解を示す方もいた一方、「議員の活動が見えない」、「積極的に市民の声を聴く機会を設けてほしい」などの意見もありました。我々、議員一同、これらのご意見を真摯に受け止め、検討を進めてきました。

議員定数の検討では、「削減」の意向の委員が多数を占め、「2人減の22人」の結論に達しました。

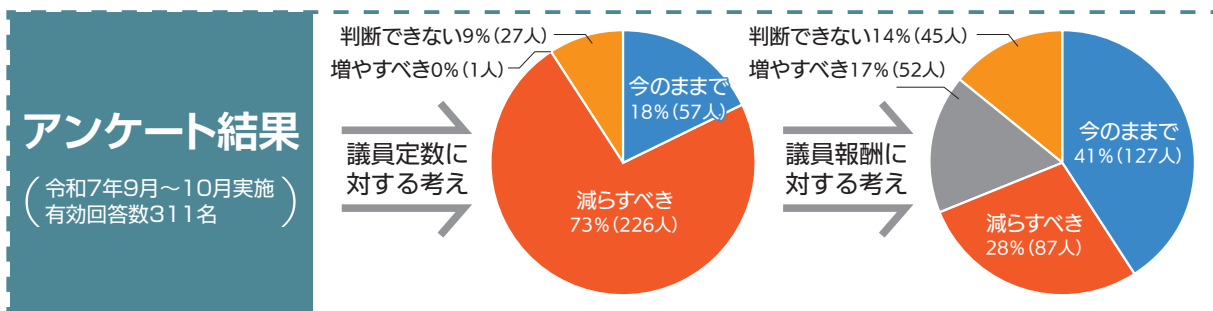
議員報酬の検討では、「議員活動費や交通費の考慮」という意見などがあったものの、市の財政状況などを勘案し、「現状維持」の結論に達しました。

また、この結論を出すにあたって、議員定数・報酬は引き続き検討を続けていくべき課題だという認識を全員で共有しました。

この結論をもって、調査報告書を議長へ提出しました。

議員定数条例の改正は、12月定例会に、特別委員会から議案を提出し、賛成多数により可決となりました。

(田村耕作委員長)



自治会長との意見交換の様子



報告書提出の様子
(正副委員長から正副議長へ)



検討経緯、アンケート結果などの詳細は、市議会ホームページ
(ページID: 10069)

令和7年度議会報告会

令和7年度の議会報告会は、4つの中学校から申込みいただき、中学3年生を対象に実施しました。

当日は、常任委員会を単位に分けた各班が、それぞれ担当の学校に伺いました。授業では、人口増加に繋がる施策をテーマに生徒の皆さんがグループで話し合った後、発表し、議員と意見交換を行いました。今号では、11月に実施した足尾中学校と藤原中学校の議会報告会の様子をお知らせします。

足尾中学校（開催日：11月17日／担当班：観光産業班）

足尾中学校での報告会も3年連続の実施となり、生徒との意見交換では、毎年多くの意見が交わされ、深い交流ができました。『人口減少対策』については、議員のもつ情報と視点、生徒の柔軟な思考と意見をもってブラッシュアップし、ひとつの実現可能性の高い施策を発案することができ、達成感と一体感を共有できたと思います。生徒の発言から中学生らしさと日光への愛着を感じる良い機会になりました。

（観光産業班1班 高見 尚希班長）

～中学生からの感想～

- ・議員さんの話を聞いて、日光市は人口を増加させるためにいろいろな取組をしていることが分かりました。また、雇用先を増やすためには、土地を提供したり、宣伝したりしなければならない、簡単なことではないと分かりました。そして、これからの日光市は、観光地という魅力を活かし、住む場所としてのまちづくりが大切だと思いました。（3年：笠井 文也さん、志賀 弘基さん）
- ・先日は、議員さんたちのお話を通して、市議会では、日光市民の生活をより良くするために、日々話し合いが行われていることが分かりました。また、日光市の人口を増加させるためには、住む場所や働く場所が大切だということも分かりました。これからも、日光市の未来について、考え続けるようにしていきたいと思います。（3年：高橋 優人さん、安江 大地さん）



藤原中学校（開催日：11月20日／担当班：民生教育班）

藤原中学校では事前に日光市の課題や魅力等についての授業を行っており、当日は、日光市の魅力を活かした、ふるさと納税の返礼品について話し合いました。ふるさと納税の返礼品としては、日光市特有の魅力が良いとの意見が多く、アイスバックスの観戦チケットや、選手と交流できる体験教室、観光地を利用したガイドツアー券などの意見があがりました。すぐにでも採用できそうな意見もあり、充実した意見交換を行うことができました。今後も年齢を問わず、様々な意見を聞きながら市政発展に尽力してまいります。

（民生教育班2班 山越 享太郎班長）

～中学生からの感想～

- ・私は、市議会議員の方々と日光市の問題について考えました。今の日光市は人口が減少しつつあるということです。日光の魅力ふるさと納税から知ってもらい、日光の課題が少しでも解決できればと、友達と考えました。そして市議の方に提案することができました。自分たちの地元への理解と関心を深める授業になりました。（3年：水上 宝さん）
- ・日光市のことについて話し合いました。日光市は、人口減少から財源が減少する課題があります。その解決方法としてふるさと納税により日光の魅力を伝え、より多くの人に来てもらえるよう意見を出し合いました。市議の方には、私たちの意見にひとつひとつ丁寧に答えていただき、とても感謝しています。良い経験になりました。（3年：梅 鈴太さん）



総務常任委員会

- ▶12月4日 付託議案審査

民生教育常任委員会

- ▶10月27日 議会と協議したい重要案件「日光市学校施設マネジメント実行計画の策定について」
- ▶12月4日 付託議案審査

観光産業常任委員会

- ▶10月20日 執行部との意見交換（視察報告）の日程について
- ▶10月28日 執行部との意見交換（視察報告）について
- ▶11月11日 議会と協議したい重要案件「脱炭素先行地域の事業進捗について」
- ▶12月4日 付託議案審査

議会運営委員会

- ▶11月20日 令和7年12月定例会について（陳情等）ほか
- ▶11月25日 令和7年12月定例会について（会期日程等）
- ▶12月2日 議会選出の監査委員の一般質問について ほか
- ▶12月12日 令和7年12月定例会の日程追加について
- ▶12月17日 令和7年12月定例会の日程追加について

議員全員協議会

- ▶10月20日 第3次日光市総合計画（基本構想・前期基本計画）の原案について ほか
- ▶11月11日 日光市新型インフルエンザ等対策行動計画の原案について ほか
- ▶11月25日 令和7年12月定例会提出予定案件について ほか

- ▶12月17日 第3期日光市まち・ひと・しごと創生総合戦略の原案について ほか

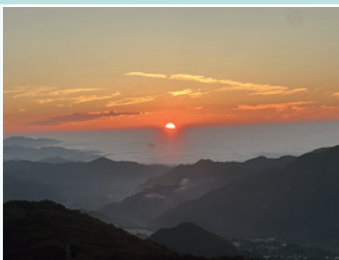
広報広聴委員会

- ▶10月2日 10月25日発行広報紙について ほか
- ▶11月27日 1月25日発行広報紙について ほか

議員定数等検討調査特別委員会

- ▶10月20日 自治会長との意見交換会
- ▶11月11日 議員定数等に関するアンケート調査結果について ほか
- ▶12月2日 議員定数・議員報酬について ほか
- ▶12月11日 報告書等について ほか

表紙の写真を募集しています！



日光市議会では、広報紙「市議会からこんにちは」の表紙写真を募集しています。日光市の素敵な場所、お気に入りのスポット、頑張っている人などを紹介してください。市内在住・在勤・在学の皆様からのご応募をお待ちしております。

次号（4月25日発行予定）の応募締切は2月28日です。
応募方法等詳しくは、日光市議会ホームページをご覧ください。
また、議会事務局までお問い合わせください。



編集後記

令和8年（2026年）がスタートしました。

今年の干支、午年は「丙午（ひのえうま）」であり、情熱や変化、力強い成長を象徴する年とされます。今号掲載の令和7年12月定例会ですが、毎年激しさを増す夏の記録的な猛暑から秋を飛び越してしまい、寒さの厳しい定例会でありました。日本が四季ではなく、まるで二季になってしまったかのように感じてしまいます。

本定例会では、議員定数等検討調査特別委員会において議論を重ねてきた議員定数について「2人減の22人」という結論が出されたことから、議員定数を22人とする条例改正をしました。本年は4月に市議会議員選挙を控え、我々議員は干支に示されているように、市民のために更なる変化や成長が必要な年になるかと思っています。

また、令和7年度も議会報告会として人口減少問題をテーマに、市内中学校の3年生と意見交換を行っています。我々は将来の日光市や子供たちの未来に責任を持たなくてはなりません。そういった中での、第一歩として大切な定例会であったと思います。

（広報広聴委員 大島 浩）